

「ルスランとリュドミラ」序曲

ロシアの作曲家、ミハイル・イヴァーナヴィチュ・グリンカが 1842 年に完成させたオペラ「ルスランとリュドミラ」は 5 幕からなる大作で、演奏時間は 3 時間半ほどかかります。現在では全曲が上演される機会はあまりないようですが、その序曲だけはとても人気があって、コンサートやレコーディングで頻繁に取り上げられています。

まず、そのあらすじを、ChatGPT さんに書いていただきました。

「ルスランとリュドミラ」は、ロシアの作曲家ミハイル・グリンカによって作曲された歌劇です。この歌劇は、古代のスラブの伝説を基にしており、愛、冒険、魔法の要素が組み合わさっています。物語は、キエフ大公国の王女リュドミラと、彼女を愛する騎士ルスランの愛の物語です。リュドミラは美しく賢く、多くの求婚者からの求愛を受けていますが、彼女は誰とも結婚するつもりはありません。

そんな中、リュドミラは魔法使いのチェルノモールによって誘拐されてしまいます。チェルノモールはリュドミラを自分の妻にしようと企んでいました。ルスランはリュドミラを救い出すため、チェルノモールの城に向かいます。

ルスランはチェルノモールの城で多くの試練に直面します。彼は魔法の剣を手に入れ、魔法の力を使いながら困難を乗り越えます。最終的に、ルスランはチェルノモールを倒し、リュドミラを救出することに成功します。

しかし、リュドミラはルスランに対して戸惑いを感じています。彼女はルスランの愛が本物かどうかを確かめるため、彼に対してさまざまな試練を課します。ルスランはこれらの試練を乗り越え、リュドミラの心をつかむことに成功します。

物語の終わりには、リュドミラとルスランは真の愛を見つけ合い、結婚します。彼らの結婚式は豪華に行われ、多くの人々が祝福の言葉を贈ります。

「ルスランとリュドミラ」は、愛と冒険をテーマにした魅力的な歌劇であり、グリンカの作曲の傑作とされています。

なのだそうです。実際は、ルスランとリュドミラの結婚式からオペラは始まるのですけどね。



参考音源

Alexander Vedernikov/

Chorus and Orchestra of the Bolshoi Theatre
PENTATONE/ PTC 5186 034

(Recorded live at the Bolshoi Theatre
Moscow, April 23rd -27th , 2003)

この序曲は典型的なソナタ形式で作られています。ですから、最初に第1主題と第2主題が提示されます。その2つの主題は、いずれもオペラの中の曲からとられています。冒頭に出てくる第1主題は、第5幕 27番フィナーレのエンディングで合唱とオーケストラによって演奏されています。



その歌詞は、

偉大な神々に栄光あれ！
聖なる祖国に栄光あれ！
ルスランと王女に栄光あれ！
完全な力と栄光で繁栄しますように
親愛なる若いカップル！
栄光と地上の幸福で輝きますように
後の数世紀に私たちの祖国を！
神々よ、力強い手を守ってください
忠実な息子たちの平和と幸福のうちに、
そしてあえてしないでください
略奪的な、凶悪な敵
私たちの子孫に対して立ち上がってください！
今、神々は私たちに喜びを与えてくれました！



こちらから音源を聴くことができます。

URLは

https://jurassic.fool.jp/snp/293/ruslan_finale.MP3

そして、81小節目からチェロによって奏される第2主題は、第2幕8番のルスランのアリアの後半から取られています。音源の01:04から01:47までと02:50から03:33までに登場します。いずれも歌詞は同じです



ああ、リュドミラ、
愛と結婚の神レーリは私に喜びを約束してくれました。
心は悪天候が過ぎ去ることを信じており、
柔らかくなった岩は私に何を与えてくれるのか
そしてあなたの愛と愛撫
そして私の人生に花を散りばめました。



こちらから音源を聴くことができます。

URLは

https://jurassic.fool.jp/snp/293/ruslan_no8.MP3